

社団法人静岡県造園緑化協会

# 緑の宝



2002  
秋号  
No. 25



静岡市駿府公園にて

## 目 次

NEW!!わかふじ国体・わかふじ大会の成功に向けてP2 静岡県体育局長 北村正平	我が社の自慢 屋上緑化について.....P6 大村造園建設(株)大村幸彦
公共緑地育成管理巡回指導リポート ..... P3~4 支部だより ..... P5 中部支部・西部支部	造園施工管理技士会だより ..... P7 話題の森・編集後記 ..... P8



# NEW!!わかふじ大会の成功に向けて



静岡県国体局長

北村正平

社団法人静岡県造園緑化協会の皆様には、日ごろから本県の環境緑化行政の推進に御協力をいたしております。

また、この度は来年開催される「NEW!!わかふじ国体」及び第三回全国障害者スポーツ大会「わかふじ大会」に御協賛いただき、メ

イン会場となるエコパスタジアムのエントランス広場にトピアリーを設置していただけたことに伺っております。いろいろな工夫が成され人気を博しているトピアリーが、会場に訪れる多くの人々の目を楽しませ、大会の盛り上げに一役買つていただくものと今から大変期待し楽しみにしております。

いよいよ来年、昭和三十二年第十二回静岡大会以来四十六年ぶりに静岡県で国体が開催されます。

当時の本県の選手団の活躍は目覚しく、そのスマーチの色から「オレンジ旋風」とうたわれ多くの人の心に残る大会となりました。

現在、準備業務が個別・具体的な詰めを行った段階になってきており、県下各地では競技別のリハーサル大会も繰り広げられ、大会の開催運営が高まっています。

国体のスローガンは「がんばるが好き」、そして、基本目標として誰もが見たい、行きたい、参加したい「国体を目指しています。

今期は、夏季大会が富士市に新設された静岡県富士水泳場をメイン会場に九月十三日から九月十六日までの四日間、秋季大会は袋井市のエコパスタジアムをメイン会場に十月二十五日から十月三十日までの六日間となっています。

この間、水泳、陸上などの正式競技、そしてビーチバレーなどの公

開競技合わせて、四十五市町村で四十競技が実施されます。このほかに、インディアカンなどのデモンストレーションとしてのスポーツが三市町村で二十一競技、実施されます。

この結果、県内七十四市町村全てにおいて競技またはスポーツ行事

が実施できるとなり、「全県国体」が実現するとなりました。

また、もうひとつのおリンピックと言われるパラリンピックがあるように、国体にも「もうひとつの国体」があります。「NEW!!わかふじ国体」秋季大会の直後に第三回全国障害者スポーツ大会「わかふじ大会」が開催されます。

これまでの全国身体障害者スポーツ大会と全国知的障害者スポーツ大会が、昨年の宮城大会から統合され、国内最大の障害者スポーツの祭典となりました。

国体と同じく陸上競技や水泳のほか車椅子バスケットボールやグランドソフトボールなど十三競技が袋井市をはじめ六市で開催されます。

両大会は県民総参加の大会を目指していますが、選手や役員としてだけではなく、ボランティア活動、市町村民運動、あるいは競技の応援・観戦など、さまざまな形で大会に参加していただけること

を期待しています。

また、施設整備だけではなく、県民あげのおもてなし、ボランティアによるサポートなどにより、ハードとソフト画面でユニバーサルデザインの考え方を実践する大会運営を図っていかなければなりません。県の魅力を全国に発信していくたいと考えています。

インの考え方を実践する大会運営を図っていかなければなりません。県の魅力を全国に発信していくたいと考えています。

心を持っていただき、夢と感動に包まれた祭典となりますよう努めてまいります。

とりわけ、貴協会会員の皆様には、会場周辺の緑化や花々で訪れる多くの方々を歓迎し、大会の盛り上げに御協力いただければ幸いです。

むすびに、社団法人静岡県造園緑化協会のますますの御発展を



NEW!!わかふじ国体秋季大会メイン会場・わかふじ大会メイン会場  
(エコパスタジアム)



NEW!!わかふじ国体夏季大会メイン会場  
(静岡県富士水泳場)

# 巡回指導リポート

協会では県からの補助事業として、グリーンバンク施工地のアフターケアを行っている。

本年度は平成十一年度施工地を対象に東部支部で十六ヶ所、中部支部で十二ヶ所、西部支部で三〇ヶ所の巡回指導を

七月二十一日から八月二十二日までの間に行つた。

巡回指導は、(財)静岡県グリーンバンク事務局、県自然ふ

れあるいは室と各農林事務所の緑化担当者、それに施工業者である協会員で行い、内容は植栽後の生育状況、病害虫発

生状況、剪定等の管理状況等となつていて、

緑化工事は、他の工事と異なり、完成後の管理次第で良くも悪くなる。それだけに施設の管理者からはアフターケ

アを感謝されている。

以下、西部地区で巡回指導に立会した江間正章吾蒙労働委員からのリポートである。

## 監督労働委員

### (株)江間種苗園 江間正章

佐鳴湖西岸緑地

平成十四年八月  
二十日、県自然ふ

れあるいは室の川合氏と西部農林事務所山口氏とともに育成管理指導にまわった。責任者として一日自他社の施工現場を発注者と同行し回るのは初めてだ。発注者(県職員)がどのような所に目をつけて、

### ● 佐鳴湖西岸緑地

宅地造成後の切土法面の林の復元の為常緑ボート苗(カシ・ザザンカ・カクレミニ等)が植栽されている。

生育状況は普通であるが、一部雑草(特にクズ)に覆われ枯れ



浜松市立南庄内小学校

### ● 市立和地小学校



● 市立南庄内小学校・市立村郷小学校  
兩校とも、外周の生垣(マキ)が主たる施工である。兩校とも年間の管理の手間が省け、樹木生育も更に良くなるのではないかと思う。

たものもある。管理は、適時に草刈をしている様だが、植栽樹の勢いが強い様子。施工時に防草シートを敷きこめば、二~三年の管理の手間が省け、樹木生育も更に良くなるのではないかと思う。

本間への日当たりが良い為か草の勢いが強い様子。施工時に防草シートを敷きこめば、二~三年の管理の手間が省け、樹木生育も更に良くなるのではないかと思う。

これまでの施工地で、生垣(マキ)が主たる施工である。兩校とも生徒数に比べ広大な敷地にも関わらず、除草灌水等の管理が行き届いている。先生の話による

と、P.T.A.の活動が活発で除草作業には、十台近い刈払い機が持参され数十人の父兄が集ま

り、P.T.A.の活動が活発で除草作業には、十台近い刈払い機が持参され数十人の父兄が集まる。北西側に面し、既存木の木陰が適度な日照と風通し潤湿環境を作っている

近年の緑化樹木は、出荷直前まで灌水・施肥・消毒等バストな状態で育成される。その様な樹木が植栽後、確実に活着し成長を維持する為には適正な植栽

木低木とも生長状況は良好。特に、知らずに踏みつけられ抜き取られがちなフッキソウが良好に生育している

いた。それそれ生徒が植物を選び、年間の観察日記をつける授業が生徒たちに持たせる事に効果をあげているのである。

るとの事だ。又、除草のみならず、生垣植栽の根元には花壇が造られ花苗が植えられている。灌水は施工業者のサービスもししくは、父兄の手により自動散水器のホースが設置されていた。この為か生育が極めて良好で、翌年植栽位置によつては、灌水が不可欠となる。現状では、この二校のようすに施工業者や完成後管理者に設置費用が委ねられるが、場合によつては設計に組み入れたらどうかと思う。

敷均し軽圧され有効な植栽盤が確保されなかつたこと、管理としては管理者職員の勤務制が二十四時間三交代制といふ事情もあり実質的責任を持つ理責任者が存在せず、灌水でなかつたことが原因であろうう（育成管理体制が形成されば、南庄内小学校村榔小学校様にP.T.A活動が盛んになり成環境は適正に保持される。）

参考 東名高速道の法面もぐらも緑化が進んでいる。その整理もされているが、クズを切つては悪いと思つてゐるのか、写真のような景観を呈してゐる。見るに見兼ねて手を差しました。プロの会員はこんな管理はしないでしようね。

● 湖西市吉見上ノ原7号線

モミジバウ・ヒラドツツジによる街路樹の緑化である。施工後二年とは思えないほど生育が良好で、除草・消毒・灌水とともに申し分のないほど管理されている。やはり、年四回の除草と消毒の成果であろう。

●浜松市「だんだん」

建物前駐車場周辺のササン  
カ・ハナミヅキ・サツキツツジ等  
による緑化である。今年の雨不

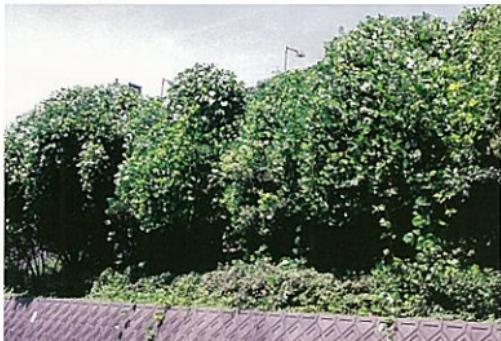
形成する。

卷之三

による緑化である。今年の雨不足と日照りにより、ほとんどの

形成する。

樹木が枯れている。原因は施工条件と管理を考えられる。施工条件としては、植栽帯の内側にも駐車場舗装用の路盤碎石が



クズに覆われた東名高速道路法面のトウネズミ王チ



根元を切られたタブ



相手にはタブの末締つる

参考

支部だより

中部支部

農高生合同実習を終えて

蒙古大學委員會



## あいさつする木下兵太郎中部支部長

し、そこは現代の若者なのか、笑顔で失敗を恐れない思い切りの良さが感じられました。ふと、我々の修業時代を振り返り、恥ずかしい思いさえしました。たまたま、ある女性社員は取材に答えていました。静岡新聞社の記者を取り調べてみると、積極的に質問に答えていました。この中の何人が造園業の後継者となってくれるのか、期待が大きくふくらみます。

三時前には根柢の判定も  
のエリアとして終わらうとして  
いた頃、小降状態だった雨もよ  
降りになつて来ましたので当日  
の作業を終りました。



会員の指導により前定する実習生

毎年恒例の静岡県立農業高等学校実習生を中部支部会員で受け入れているが、本年度は

カイブカイブキは針葉樹で、本来男定のむずかしい樹木とされているにもかかわらず、協会員の先輩方々の指導を得て開立の最端地ハサミを駆かして、いる生徒も何人かおりました。初めての社会実習なが、興味津々の顔をしていました。しか

テニスコート管理棟で昼の内を当を食べました。労働の後の会事の美味しさと、友と同じ弁当を食べる喜びが少しでもわかつてくれれば幸いです。

A photograph showing four individuals standing outside a building. From left to right: a young girl in a white t-shirt and dark shorts; a woman in a dark patterned dress; a man in a grey jumpsuit; and a man in a striped shirt and a light-colored cap. They appear to be reviewing some papers or blueprints together.

トピアリー設置後、空缶のボイラーハウジングが大幅に減ったと喜ばれていた。また、静岡新聞の「ひるば」論評欄の写真にキリンのトピアリーが登場し、去る九月二十六日には第一TVで放映された話題となっている。

八月八日には静岡国道工事事務所、県土木部などJORC、岡駅コンコースのドリームキャンペーンを行い、協会も参加して浜名湖を駆けめぐらして花火大会を行った。

西部支部



啓発資料のほか、浜名湖花博PRのパンフレット、協会PRの草花の種子等を配布した。

午後は炎天下のもと浜松市篠原町国道一号線の交差点附近で、昨年のキリンのトビアリーリーに続き、ウマとガルガモのトビアリーリーの設置と中央分離帯の刈払いを行った。

浜松工事事務所からは昨年の



トピアリーに鎌を入れる永井哲郎浜松工事事務所長と住民ボランティア代表



浜名湖花博をPRする西部支部役員



静岡駅コンコースで花の種子を配る西野会長と望月副会長



炎天下で作業する西部支部会員



# 造園施工管理技士会だより

## 受験対策講習会を振り返って



講習会の一こま

- 本年も八月一日、三日の二日間においてわかつて静岡産業経済会館において受験対策講習会を実施した。
- 受講生は景気の影響か、昨年の半数の十五名であった。
- 講師は常任理事で分担しているが、昨年の山内敏男副会長の退会に続いて本年は鈴木俊男東部支部長の死去により吉岡愛策、川口禎二新常任理事に壇願ての講習会となつた。
- 関係法規 受験要領
  - 造園管理・設計図書 乗松文男会長
  - 造園計画・設計・植栽 小林召二副会長
  - 測量 望月教彦副会長
  - 施工管理と施工各論 水野豊訓会長
  - 造園材料 源平太常任理事
  - 造園施設 吉岡愛策常任理事
  - 試験 川口禎二常任理事

試験は一級学科が九月一日に行われ十月十八日に発表、十二月一日に実地試験、来年の二月十六日に最終発表がある。二級は九月十五日に試験が行われ、十二月六日に発表されることがになっている。全員の合格を祈念したい。

昭和五十年に建設業法により造園施工管理技士制度が施行されましたが、当時は造園の有資格者が土木にくらべ非常に少なく、又試験の合格率も低く、其の対策が関係機関より強く要望されて参りました。その時に当り私共技士会が検討を重ね平成四年に受験者に呼びかけ、第一回の受験対策講習会を開催致しました。当時は参考資料も少なく、手探り状態の中で常任理事が講師となり、それぞれの項目を分担して毎日間の日程で行いました。以来毎年講習会を開催して参り、今年で十一回目となりました。(本年は八月二二、三日に開催)御陰をもちまして合格率も年々上昇して多くの施工管理技士を送り出す事が出来ました。

平成七年には造園建設業も指定業種に加えられ、以降年々法の改正制度の改正等により施工体制の適正化が進み、有資格技術者の責任とその役割が一段と大きく評価される時になつて参りました。私共技士会も少しでも造園建設業の御役に立つべく、技士会に課せられた使命達成に向い頑張つて参る所存でありますので今後共尚一層の御指導と御支援の御願い申し上げます。

会長 乗松文男

## 受賞者紹介

第十四回静岡県優秀施工管理者顕彰候補者に、協会から西部支部、みどり園株式会社 高林孝次氏を推薦して頂いたところ、その功績が認められ、去る九月十二日しづぎんホールユーフォニアで開催された、平成十四年度建設産業構造改善推進のつどいの席上、静岡県土木部長から表彰されました。おめでとうございます。

高林孝次氏 みどり園株式会社



表彰を受ける高林孝次氏

高林孝次氏は、造園及び土木の一級施工管理技士をはじめ、造園技能士や街路樹剪定士等の造園、土木に係わる資格はすべて取得し、三十一年もの間、造園一筋に取り組み、個人庭園から公共工事まで、常に技術の向上をしてきた。後進の指導も親切丁寧で定評があり、近年においては「業務のIT化にも積極的に取り組み、品質管理や施工監理に応用し成果を上げている。

## Wadai no Mori

## 話題の森



ガーベラ



展望

浜松市花はガーベラの生産全国一、パッキングセンターでは競り取られた色とりどりの花々が生き競う=浜松市深森町

一〇〇四年四月から浜名湖畔で開幕する浜名湖花博(しづおか国際園芸博覧会)前売り券が一日発売開始となった。浜松市村野町では高さ五メートルの庭園塔が完成、庭園を介すテーマ「水」の園芸施設の建設も順調と進んでいる。ガーベラをはじめ全国有数の花の生産地、浜松市で開かれる国際園芸博まであと百日。五百日余り、静岡国際園芸博覧会は人馬五百万人を目標に、国内外で販賣促進キャンペーーンを展開する。

## 前売り券も販売開始

## 開幕へ準備着々と

我々の大祭典である「しづおか国際園芸博覧会」(愛称 浜名湖花博)の工事も着々と進み、前売り入場券の販売も十月一日に始まった。会期六ヶ月間、入場予定期券は五百万人を見込んでいる。このようないベントを成功させるには、入场予定期券の六〇パーセントを前売りで確保する必要がある。そこでこの花博では三百万枚の前売り券が予約となる。協会では、我々の祭典という認識のもと、一万五千枚の販売を目標に活動します。お歳暮、御中元は商品券、ビール券に代えて是非入場券をお求め下さい。会員の皆さんはまだ一年半もあると思うことなく、今すぐ協会事務局へ申込んで下さい。また、親戚・知人にも是非お勧め下さい。今なら二〇パーセント引きです。

しづおか国際園芸博覧会  
浜名湖花博  
2004.4.8-10.11

親水スペース

花博のテーマの一つは「水」。会場には親水スペースも用意されている=浜松市村野町の浜名湖花博会場



入場券販売



並木

初日だけ開設された特設ブースで前売り券を買いためる市民=浜松市砂山町の浜名湖花博会場

静岡新聞 平成14年10月2日

秋号からは賀茂労働委員の寄稿が増えました。緑地巡回指導は西部支部 江間正義委員のトピアリイが設置したギリヤーとドライバーによる車両のドライバーや家族の人の気の通じた園芸が人気となり国交省浜松事務所にいるひとと煦空がいるそうです。静岡新聞にも大きな写真が掲載されました。乗組訓練会長が報告がありました。

静岡国際園芸博覧会協会では、浜名湖花博「ワールドガーデンコンペティション」を実施します。吉田で開催された「しづおか祭・花祭」の際の際のコラボでは、残念ながら県内の入選者がなく、国外と県外の作品となってしまいました。浜名湖花博では競争作品八点の内、国内四点、国外四点となっています。国内四点の内、二点くらいは県内で、いや、会員の申込から入選させたいものです。今すぐ静岡国際園芸博覧会協会へエントリーして下さい。

なお、協会出展の作品について、は近々、設計コンペ開催を予定しています。こちらもふるって御応募下さい。

## お知らせ